---------------------------------------------------------

「ネットワーク実習」 レポート

---------------------------------------------------------

課題： R6

学生番号：37022503

氏名： 山形隼士

所要時間： （3）時間

（注意）各課題に対して，内容（プログラムの仕組み）と考察（苦労した点，工夫した点）を必ず記すこと．

-----------------------------------------------

(A6-1)

内容：(A2-1)で表示した情報をテーブル形式にし，フッター情報を追加する．CSSを用いて，ページのスタイルを変更せよ．そのためのHTMLファイルa6-1.html，Pythonスクリプトa6-1.py，CSSファイルstyle.cssを作った。

考察：HTML側でフッタークラスを定義し、CSSを使ってフッターの部分に色や大きさ等を指定することでフッターを追加することができた。CSSを書くのは久しぶりであったが特に問題なく作成できた。

-----------------------------------------------

(A6-2)

内容: (A2-1)で表示した情報をテーブル形式にし，フッター情報を追加する．Bootstrapを用いて，ページのスタイルを変更せよ．そのためのHTMLファイルa6-2.html，Pythonスクリプトa6-2.pyを作れ．

考察:Bootstrapを使い、1番と同様の内容のフッターを作成することができた。Bootstrapを使うことは初めてであったので、記法にかなり苦戦し、少し時間が取られてしまった。もう少し時間をかけてBootstrapに慣れていくようにしたい

-----------------------------------------------

(A6-3)

内容: (A1-1)で作成したそれぞれのイベント情報をグリッドシステムを用いて表示せよ．画面の横幅を変えるとレイアウトが変わるようにすること．そのためのHTMLファイルa6-3.html，Pythonスクリプトa6-3.pyを作れ．

考察:グリッドシステムを利用することで、作成したWebページをレスポンシブデザインに対応させることができた。グリッドシステムを使わずにレスポンシブに対応させることは個人的に難しいと感じているので、積極的にこれらのフレームワークを活用していきたい。

-----------------------------------------------

(A6-4)

内容: (A4-1)で作成したWebページのスタイルをBootstrapを用いて変更せよ．そのためのHTMLファイルa6-4in.htmlとa6-4out.html，Pythonスクリプトa6-4.pyを作れ

考察:Bootstrapを利用しa4-1のWebページをレスポンシブデザインに対応させることができた。具体的には、outの方のHTMLにおいて、出力される結果をレスポンシブデザインに対応させて、画面サイズによって表示が変わるようにした。一つ前の課題を参考にすることでうまく作成することができた。

-----------------------------------------------

[感想] 課題全体に対する感想

今回の課題では、主にWebページのデザインに主軸を置いて勉強した。CSSに初めBootstrap等のフレームワークも触ることができた。今まであまりWeb系のコーディングはしたことがなかったので、これから先自分のLPを作る際にもこれらの知識を参考にしたい。